２０１８年３月議会　　平成２９年度八幡市一般会計補正予算案反対討論　　亀田優子

ただいま議題となっています日程第６、議案第２７号、平成２９年度八幡市一般会計補正予算案にたいして、日本共産党八幡市議会議員団を代表して反対の立場で討論します。

反対する理由は一点です。八幡市の一般会計から下水道事業会計への繰り出し金を６０００万円減額していることです。八幡市の下水道事業会計は、毎年、黒字が続いていました。ところが、今年度の補正予算案で繰り出し金を減額することで、平成２９年度の下水道事業会計は１２２万１０００円の純損失となります。繰り出し金を減額せずに、今後の下水道料金の引き下げの拡充に使うべきです。

これまで、市は下水道事業会計への繰り出し金として、平成１１年度には１０億円を支出していましたが、年々減額され今では３億円程度になっています。八幡市は、これまで市民負担を軽減する目的から、雨水分にくわえて汚水分への繰出金を支出してきました。今回の繰出金の減額は、資本的収入の出資金ではありますが将来的にみた場合、市民の負担を増やすことにつながり容認することはできません。

以上が一般会計補正予算案の反対理由です。なお、下水道事業会計補正予算案についても、先に述べた理由により反対とします。